

【提案シートの内容】	生徒からの質問	【質問に対する市長の考えなど】	担当課
<p>【公共交通】 平成16年度に碧南、吉良吉田間の名鉄三河線が廃線となりました。それ以降、一色地区の公共交通機関は、バスのみになりましたが、本数が少ないため、とても利用しにくいと感じます。そのため、利用する人も少なく本数も増えないという、負のサイクルになっています。また、子どもや高齢者など車を運転できない交通弱者と呼ばれる人たちの移動手段が少なく、不便さを感じています。現状を見ると、交通網が不十分であるため、市内での移動はもちろん、市外からの人の動きがありません。西尾市の活性化を図るために、観光客を呼び込むためにも、移住や定住を進めるうえでも、公共交通の整備は課題の一つと考えます。</p>	<p>【質問1】 総合計画に書いてある「平成34年における人口の展望」を見ました。人口は緩やかに減少しています。人口減少は、西尾市だけの問題ではなく、日本全体の課題です。観光客を呼び込むことも大切ですが、移住定住人口を増やす取組が必要だと思います。西尾市には、移住定住人口を増やす具体的な計画がありますか。</p>	<p>【市長】 人口減少にどう対応していくかという事が日本が抱えている一番大きな課題です。ポイントは働き世代に好まれるようなまちづくりをすることです。1つは「働く場」があること。西尾市は漁業や農業も盛んですが、自動車産業が盛んなまちで、全国的に見ても働く場所が豊富なまちだと思っています。5年後くらいには吉良地区にデンソーが大きな工場を建てます。2つ目は「子育てしやすい環境」です。全国の市町村が子育て環境を整える取り組みを競い合うよう行っています。本市では、子どもの誕生に対して祝い金を支給しています。また、不妊治療に係る助成も行っています。その他、今年度は、市内全学校にエアコンを設置するなど児童生徒のが勉強しやすい環境を整備しています。まちづくりを進める中で若者の意見を聴き反映することがとても重要だと思っていますが、若い世代の方々の意見は、正直届きにくいと感じているため、学生議会や高校生、新成人との懇談会を開催しています。10年先、20年先を見れば皆さんはまちづくりの中心的存在となっています。皆さんが大人になって西尾で住み続けたいと思っていただけるようなまちづくりを目指していきます。具体的な計画は、「西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画です。</p>	<p>企画政策課</p>
<p>【提案】 移住定住やまちづくりの視点から、広域的な公共交通のつながりを考えてはどうでしょうか。公共交通利用者を増やすために、観光地としての価値を高めていくことはもちろんですが、全国的にも有名になりつつある佐久島への乗り継ぎだけに終わらせないよう、一色地内に既存の施設を活用したバスターミナルを作ったり、町内の商業施設周辺にターミナルを作り、人の流れを作ってはどうか。また、各バス停留所に駐輪場を整備することで、学生を中心に自家用車を利用しない人のバス利用が見込まれるのではないのでしょうか。公共交通の充実と強化を図ることで人が集まり、地域が活性化し、経済効果が期待できます。また、バスターミナルと既存施設を連動させることで、周辺の賑わいが生まれ、多世代間の交流も期待できると考えます。</p>	<p>【質問2】 西尾市は、2020年までに「日常生活で移動に不便さを感じている市民の割合」を30%まで引き下げる目標を掲げていますが、公共交通に関する計画はありますか。また、計画がある場合は、一色町内の公共交通の将来像を教えてください。</p>	<p>【市長】 バス路線については、ふれんどバス、名鉄東部交通バス、六万石くるりんバス、いっちゃんバスがあります。現在、運賃が統一化されておらず、ルートも一部重複するなど市民の皆さんからもご意見を頂戴しており、今年度、バス路線の再編を行い、令和2年4月から新ルートで運行する予定です。ポイント2つ。1つ目は料金格差をなくす事です。名鉄系バスの運賃は、距離が長くなるほど料金が増していくシステムで、くるりんバスは1回、1乗車100円となっています。4月からは、名鉄系バスは1回200円、くるりんバス及びいっちゃんバスは、1日乗り放題で200円を予定しています。2つ目は、路線を増やす事です。現在、3つのくるりんバス路線といっちゃんバスが走っており、合計4路線ありますが、これを9路線に増やしていく予定です。いっちゃんバスについては、2年前に運行がスタートしましたが、利用者は増えていない状況です。原因としては、買い物できる店舗の近くにバス停が無いことなどが考えられ、再度市民の皆さんと協議し、4月からは新しいコースで運行する予定です。</p>	<p>地域つながり課</p>

【提案シートの内容】	生徒からの質問	【質問に対する市長の考えなど】	担当課
		<p>【市民部長】 一色地区のいっちゃんバスについては、町内会長や民生委員の皆さんなど30名ぐらいのメンバーで地区協議会という組織を発足。一色地区における公共交通のあり方を検討し、運行がスタートしました。しかし、利用者数が伸びず再度見直しを行うこととしました。具体的には、Aコープ一色店や三河屋など17店舗に行けるようなルートを考えています。また、医療機関については、西部方面では吉田歯科や高須皮膚科、東部方面では深見クリニックやあい歯科など16医療機関の近くを通るコースを考えています。その他、現在のターミナルである一色町公民館（一色支所）や信用金庫、JA西三河など公共系の8つの機関の近くを通るルートを考えています。市民の皆さんが生活しやすいようコースを再編し、地域でいっちゃんバスを育てていこうという機運を高めていきたいと考えています。</p>	<p>地域つながり課</p>